

<プレスリリース>

2011年5月6日  
有限会社 大平技研

～光学式としては世界初！360度全天球プラネタリウム～  
エストニアの AHHA Science Center に MEGASTAR-IIB & ZERO 納入  
ヨーロッパ初設置！

有限会社大平技研(代表取締役:大平貴之、以下大平技研)は、MEGASTAR-IIB(メガスター・ツー・ビー)と MEGASTAR-ZERO(メガスター・ゼロ)をエストニア第二の都市・タルトゥに新設された<sup>※1</sup>AHHA Science Center(アハー・サイエンス・センター)に納入致しました。欧州では初めての設置となります。

360度全天球プラネタリウムという画期的なプロジェクトで、IIB、ZERO、そしてデジタルプラネタリウムの<sup>※2</sup>UNIVIEW(ユニビュー)を使って、球状スクリーン全体に星空とデジタル映像を投影。光学式としては世界初の試みとなります。球状スクリーンの約3分の1に当たるスペースに14の座席を配置。透明な強化ガラスで作られた床の下にまで星や映像が映し出され、観客はまるで宇宙空間に浮かんでいるような感覚を体感することができます。



スーパープラネタリウム・MEGASTAR シリーズはプラネタリウムクリエイター・大平貴之(大平技研、代表取締役)によって開発されました。IIBは10～15mの中型ドームに、ZEROは4.5～11mの小型ドームに対応しており、どちらも5機目の設置となります。恒星数はAHHA Science Center向けのカスタマイズ仕様で、IIBが500万個、ZEROが220万個となっております。

両機は、世界で初めて光源にきわめて寿命の長い超高輝度LED(発光ダイオード)を採用し、ランプ交換が数年に渡り不要となったほか、消費電力も減少。革新的なランニングコストの低減を実現したモデルです。(詳細は、付属のスペックシートをご覧ください)。

海外事業としては、AHHA Science Centerは、昨年10月のインド・ニューデリー、今年1月のインド・ラクシャドウィープ諸島に続き、3つ目の案件となります。今後は、今年6月にCopernicus Science Center(ポーランド・ワルシャワ)、秋にはタイ国でのプロジェクトが予定されています。

※1【<sup>1</sup>AHHAA Science Center(アハー・サイエンス・センター)】

エストニア第2の都市、Tartu(タルトゥ)に新設された科学館で、エストニアでは最大。科学を学ぶことへの恐れや偏見を減らすことを目的に掲げ、360度全天球プラネタリウムの他、空中に渡された紐の上を走る自転車や、ニワトリの卵が孵化する様子を見せる施設など、インタラクティブでユニークな体験型の展示を数多く揃えている。



住所: Sadama1, 51004 Tartu, Estonia

TEL: +372-7-456-789

HP: <http://www.ahhaa.ee/en/>

※2【UNIVIEW(ユニビュー)】 <http://www.scalingtheuniverse.jp/>

科学と天文を伝える手段として開発されたビジュアライゼーション環境ソフトウェア。アメリカ自然史博物館ヘイデンプラネタリウムにて開発が開始され、現在はスウェーデンを本拠地とする SCISS AB(スキス・イー・ビー)社と株式会社オリハルコンテクノロジーズが共同開発を行っている。圧倒的な映像クオリティと、リアルタイム演出のために練り込まれた秀逸な操作性が特徴で、デジタル映像による、地球から宇宙の果てまで旅するような多彩な演出が可能。



株式会社 オリハルコンテクノロジーズ <http://orihalcon.co.jp/>

【本件に対するお問い合わせ先】

(有)大平技研

企画広報:大渡恵子

〒214-0034 神奈川県川崎市多摩区三田 1-28-38 プレステージ 1F

TEL: 044-931-5610 FAX: 044-931-5612 MOBILE: 080-1084-7367

URL: <http://www.megastar.jp/>

E-mail: [keiko@megastar.jp](mailto:keiko@megastar.jp)

## 主な仕様

型式		MEGASTAR-II-B
恒星投影機	投影恒星数	10万～1000万個〔ユーザ希望によりカスタマイズ〕
	星雲星団	100以上の天体をリアルに再現。
	投影方式	光学投影方式
	光源	超高輝度LED
	調光機能	電子制御(PWM) 0-100%任意可変
	地平線下遮光	重力式シャッター
	運動機能	時間変化:日周運動・年周運動・歳差運動 位置変化:緯度変化、経度変化(全世界の星空)、地球外惑星からの星空
	回転速度	各軸0～40deg/sec
	冷却方式	強制空冷(内蔵ファン4台)
	輝星投影	21個の1等星の固有色と明るさを精密に再現。またたき可能(オプション)
	オートジオメトリ機能	専用CCDカメラ+レーザ搭載(デジタルプラネタリウムに映像歪補正データを出力)
	サイズ	670(w)×540(d)×720(h)
	重量	約45kg
太陽系天体投影機 (オプション)	形式	シールド型分離独立XY制御方式
	構成	太陽+5惑星+月(オプション)
	光源	超高輝度LED
	冷却方式	自然空冷(ファンレス)方式
	地平線下遮光	電子制御方式
コンソール	コンソールPC	WINDOWS-GUI
	マニュアル操作卓	ダイヤルorフェーダによる各パラメータの移動操作 ・時刻(日周時、年周時、歳差時) ・位置(経度、緯度、方位) ・各軸角位置直接操作(日周軸、緯度軸、方位軸) ・空間位置姿勢角(ピッチ、ヨー、ロール) ・各天体調光操作 ・外部照明機器統合調光操作
	操作卓インターフェース	DMX-512規格
	操作モード	マニュアルモード、オートモード
一般仕様	使用電源	100V-120VAC 1.0KVA(MEGASTAR)、2KVA(デジタルプラネタリウム)

## 主な仕様

型式	MEGASTAR-ZERO		
種類	H-type	M-type	L-type
恒星球直径	27cm		
重量	11kg		
投影恒星数	220万		
最微等級	11.0等		
天の川	ひとつひとつ独立した星の集団として再現		
星雲星団	約50の天体を再現		
対応ドーム径	8.0-11.0m	6.0-8.0m	4.5-6.0m
運動機能	3軸(日周、緯度、方位)	3軸(日周、緯度、方位)	2軸(日周、緯度)
太陽投影機	○	○	×
デジタル連動機能	○	×	×
制御コンソール	WindowsPC-GUI		